

問 平成30年度予算で重要視した事業は
答 子育て世代包括支援センターの開設



田中榮一 議員

【平成30年度予算と村長4年任期の総括】

問 予算編成で最も重要視した事業は。

答 妊娠・出産期から18歳まで子育てに関する相談や、療育等切れ目のない支援を実現するため、子育て世代包括支援センターを設置する事業。地方創生交付金事業で、世界No.1リゾートと通年マウンテンリゾートを見据えた、世界から選ばれる山岳観光地構築事業を展開する。

問 選挙公約に「元氣ある白馬村を取り戻す」とあるが取り戻すことができたか。

答 就任から3ヵ月、26年11月22日白馬村の歴史に残る大震災が発生し、被災された

問 次の小水力発電所建設の考えは

答 水量調査など適地の検証等に取り組む

方々の避難先の確保や、生活基盤、産業基盤の復旧に全力で対応に当たった。震災もあったが、白馬村合併60周年記念大会、30年ぶりに開催した銀嶺国体、FISサマーグランプリ、ワールドカップコンバインド白馬大会など、全国・全世界に白馬ブランドを発信できた。予期せぬ災害の発生により、元氣な白馬村を取り戻すことができたか分からないが、元氣な白馬村をPR出来たと思う。

問 8月村長任期が満了するが2期目の考えは。

答 自分なりにわき目も振らず村政に取り組んできた。その時期については、後援会や支持者の皆さんと相談しながら判断したい。

問 新たな観光振興策は

答 サイクルツーリズム事業を積極推進

【自然エネルギーの利活用】
第5次総合計画では、積極的に自然エネルギーの利活用に取り組むと謳っているが。

答 自然環境への負荷が少ない発電システムに前向きに取り組むことは、この時代に生きる我々にとって責務と考える。

問 新たな小水力発電所を造る計画は。

答 村として地球温暖化防止対策の問題に取り組むことは大事な事。小水力発電所建設に向けては、水量調査等適地の検証や、エネルギー先進国の事例研究、関係省庁等の更なる助成制度など財政面の研究も併せて取り組む。

【グリーン期のスポーツ観光】

問 新しい観光振興策として自転車環境整備に取り組んでいるが、進捗状況は。

答 年度予算新規事業として「サイクルツーリズム事業」の1100万円を計上した。施設面で2020年東京オリンピックを控え、事前合宿を受け入れるための環境整備を行う。

問 新しい観光振興策を考えているか。

答 白馬ALPS花三昧をより充実させるために、新たなアイデアとして食用の花を使い、食の面から花溢れる白馬を体験していただくことと企画している。



自然エネルギーの有効活用は可能か
湧水期でも水の流りが絶えない犬川